



みやき町

2023.3月議会

No.62

こんにちは **議会** です。



Contents ・ 主な内容 ・

3月定例会(主な議案).....	2
新年度予算成立！.....	4
新年度予算を審査しました.....	6
一般質問、10人が町政を問う.....	10
議員の横顔、編集後記ほか.....	22

議員の横顔

左から 牟田秀文 議員、古賀 通 議員、平野達矢 議員、
(最終ページに表紙議員の一問一答を載せています)

各庁舎、こすもす館のテレビで、議会中継を
行っています。インターネットでも視聴できます。



[みやき町議会中継](#) [検索](#)

令和5年第1回定例会

3月定例会は2日から20日まで行われ、条例改正や予算案などを審議し、いずれも可決・同意しました。主なものは次のとおりです。

条例制定

多世代交流センター 条例の制定

全員賛成

子どもから高齢者まで、多世代の町民相互の交流活動及び子どもの健全な成長を促進する事業を行うための施設を設置するもの。

条例制定

北茂安B&G海洋 センター条例の制定

全員賛成

B & G 海洋センター施設の目的を、町民の生活習慣に対する意識を高め、体力向上及び健康の維持増進を図る健康増進施設に改め、その所管をメディカルコミュニティ推進課にするもの。

条例制定

持丸古民家条例の制定 持丸農園条例の制定

全員賛成

住民の生きがいづくりや交流、観光、学習の場として古民家や農園を活用することを目的として、設置するもの。

条例改正

機構改革に伴う 関係条例の整理

全員賛成

- 4月に実施する機構改革に伴い、条例中の関係課の名称を変更するもの。
- ・ 総務課選挙・防災担当と国土調査室を統合
⇒ 防災安全課を設置
 - ・ 総合政策課と総務課庶務・人事担当を統合
⇒ 総務課に再編
 - ・ 住民窓口課、環境福祉課、子ども未来課の3課⇒ 住民環境課と子育て福祉課の2課に再編
 - ・ B&G海洋センターの管理・運営を、教育委員会⇒ メディカルコミュニティ推進課に移管

条例改正

職員の給与に関する 条例の一部を改正

全員賛成

- 新たに7等級の導入と、役職名の呼称を一般的に使用されている分かりやすい名称へ変更する改正。
- ・ 7級：困難な業務を分掌する部長の職務を追加
 - ・ 「専門主査」を「係長」に改正し、役職名に「課長補佐」を追加

条例改正

国民健康保険条例の一部を改正

全員賛成

健康保険法施行令等の一部が改正されたことに伴い、国民健康保険の出産育児一時金を8万円増額するもの。

	出産育児一時金	+	産科医療補償制度掛金	=	支給総額
改正前	40万8千円		1万2千円		42万円
↓					↓
改正後	48万8千円		1万2千円		50万円

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

全員賛成

委員の任期が令和5年6月30日で満了するため、再任することに議会の意見を求めるもの。

つる 鶴 あつこ 貴子 氏（白石区）



条例改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業、家庭的保育事業等、放課後児童健全育成事業の設備や運営の基準を改正

全員賛成

- 民法等の改正に伴う関係条例の改正
- 児童虐待を正当化する口実に利用されているとの指摘があった親権者の「懲戒権」の規定を削除
- 乳幼児の活動等のために自動車を運行するときの点呼と所在確認の義務を新設
- 送迎自動車にブザー等の見落とし防止装置を備える義務と所在確認の義務を新設

管理者指定

町営住宅等の指定管理者の指定

全員賛成

令和5年度から令和9年度までの町営住宅（北浦団地、第2北浦団地、石貝団地、新町団地、東寒水団地、天建寺団地の6施設）の指定管理事業者を、大字箕原の株式会社九州PFIクリエイトに定めることに、議会の議決を求めるもの。

訴えの提起

訴えの提起（町営住宅賃料請求事件）

全員賛成

町営住宅の賃料を長期滞納している2者に、みやき町が支払いの訴えを佐賀地方裁判所に起こすことに、議会の議決を求めるもの。

補正予算

令和4年度みやき町一般会計補正予算（第9号）

全員賛成

1億3,309万3千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ164億1,698万5千円とする。

令和4年度みやき町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

全員賛成

714万5千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ38億6,683万円とする。

令和4年度みやき町下水道事業特別会計補正予算（第4号）

全員賛成

537万4千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ20億9,961万5千円とする。

令和4年度みやき町工業用地取得造成事業特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

67万1千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ8,540万3千円とする。

令和4年度みやき町グリーンパーク推進整備事業基金特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

1,494万8千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ1億3,242万7千円とする。

令和4年度みやき町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

784万3千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ4億7,806万8千円とする。

令和4年度みやき町住宅用地取得造成事業特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

1,503万2千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ2,478万5千円とする。

令和4年度みやき町ふるさと寄附金基金特別会計補正予算（第5号）

全員賛成

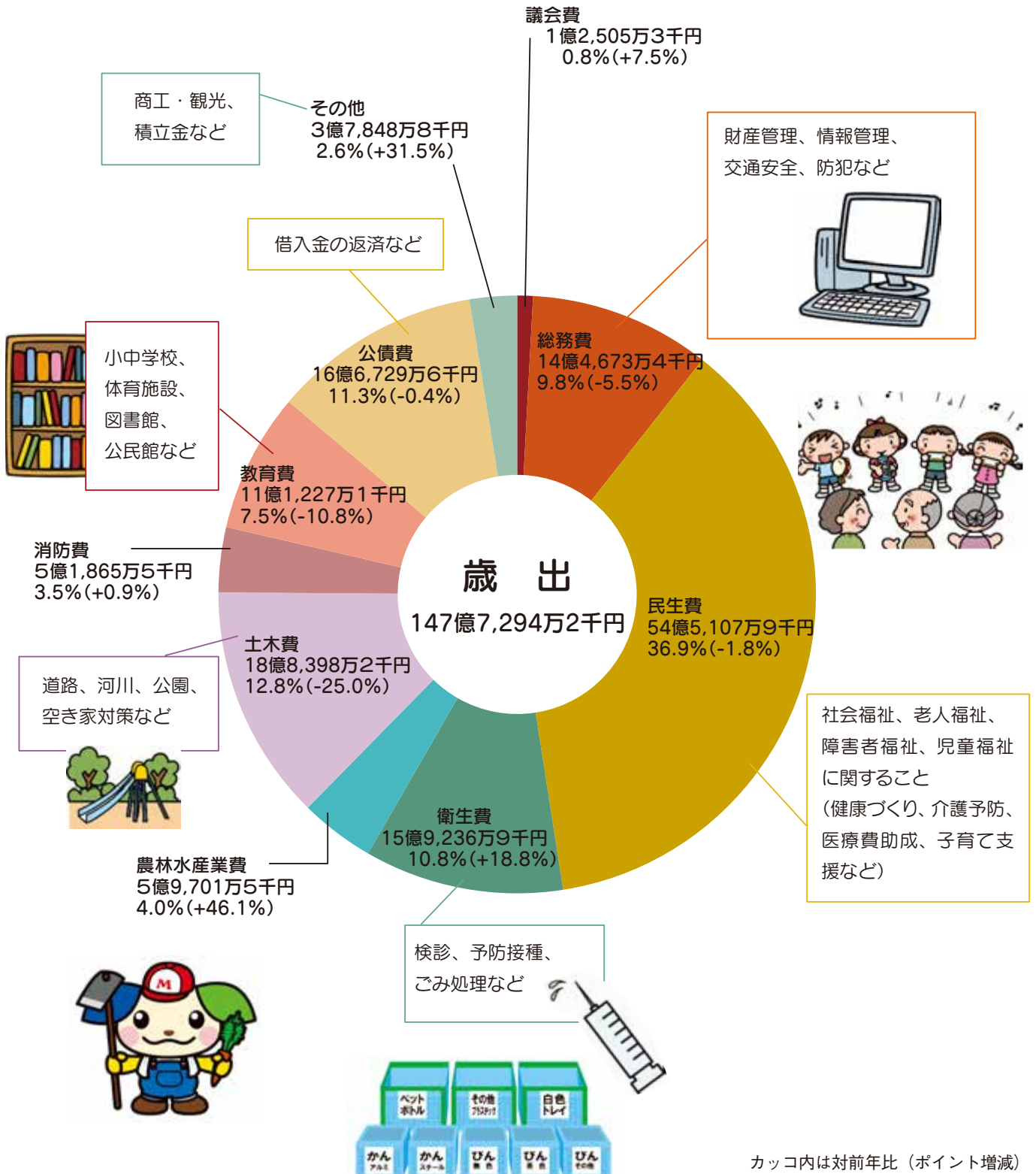
1億5,296万7千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ65億4,093万円とする。

令和5年度予算が

一般会計予算 147億7,294万2千円

◆ 一般会計 歳出予算の内訳

注) 表示単位未満を四捨五入しているため各項目の合計額が一致しないことがあります。



当初予算

令和5年度予算を審査しました！

総務文教常任委員会

町民の安全安心をさらに!!

- 防犯灯設置に 300万円
- 防犯カメラ設置に 184万8千円
(通学路等)



- 交通安全施設(カーブミラー等)に 1,285万円

- 鳥栖三養基地区消防の負担金
 - 佐賀県防災ヘリの負担金
- 3億7,585万4千円
- みやき町消防団の整備運営等に 7,626万円
 - 消火栓の整備改修に 1,445万円



学校教育にも!!

- ICT機器整備に 2,576万円
- 夢の教室事業に 120万1千円
- 小中学校の特別支援学級の支援に 3,828万8千円
(支援員22名配置)

当初予算審査

生活支援を
充実します

○みやきpay 利活用事業 6,240万8千円

定額チャージに
プレミアム分を付加

5,000円	500円
--------	------

1口5,000円で5,500円分の買い物ができる
(10%割り増し)



○高齢者等タクシー助成 1,935万円
500円券×72枚(1年間1人当たり)

土・日・祭日も
フルタイムOK!!

○地区公園の遊具を修繕します
1,068万7千円



新規就農や
規模拡大に
補助します

○『さが園芸生産
888億円推進事業』
の補助金
2億274万7千円

○定住促進
空き家を再生しませんか
(一戸上限 50万円)
1,678万4千円

インフラ整備も着々と!!

○下水道事業 北茂安 処理区 1億2,500万円
中原 処理区 1億2,500万円
三根 処理区 8,566万5千円



みやき町デザインマンホール

○子ども第三の居場所事業

1,417万3千円

「家でも学校でもない居場所」
を設け、困難を抱える子ども
を支援する



ボランティアセンター敷地内に増設

新しいごみ処理施設を建設しています



鳥栖市内に建設中の新しいごみ処理施設

○新施設

佐賀県東部環境施設組合負担金

2億9,233万8千円

○現施設（香田地区）

鳥栖・三養基西部環境施設組合負担金

2億4,695万円

現施設は令和5年度末をもって
供用終了となります

その他の主な事業

- 健幸大学事業 443万円
- 移動販売事業（買い物支援） 823万円
- 出産子育て応援事業 2,847万円
 - ・ 出産応援ギフト⇒妊婦に5万円支給
 - ・ 子育て応援ギフト⇒子ども一人に5万円支給
- 出生祝金支給事業 1,374万円
- 健康づくり支援事業 1,890万円
- 山田地区ひまわり園等 377万円

※万円未満は四捨五入して表示しています

さらなる保育環境整備に

○保育所等施設整備補助金

約3億4,147万7千円

中原幼稚園が認定こども園
（幼保連携型）に



○まちづくりのためのアイデアを

広く募り実施する事業 1,000万円

みやき町の未来につながる町全体の
活性化・魅力あるまちづくりのため
事業を厳選して有効活用します

○地区安全安心いきいき特別交付金 1億7,300万円

各地区に、大木除去や防犯灯、カーブミラーなど、
早急に対応しなければならない事業に使ってもらうために!!

○学校給食費補助金 5,022万7千円

給食費補助で子育て世代の経済的負担を軽減して
安心子育て、定住促進に寄与するため

令和5年4月、2か所の認定こども園が開園!



広い保育室

はなのやまこどもえん



電子黒板でLet's English



園舎外観

まつわか幼稚園



絵本の部屋

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。令和5年第1回定例会の一般質問は10人が行いました。各議員のページには、『QRコード』と『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。QRコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。（掲載は登壇順）

P15	P14	P13	P12	P11
少年スポーツ 育成	DX推進	県立大学の 誘致	豆津橋の 4車線化	移動販売
P20	P19	P18	P17	P16
小児科の誘致	合併18年間の 検証と今後の	紙資源の回収	令和5年度 重点施策	学校施設 老朽化対策

皆さんの関心のある
テーマは どの項目
ですか？

全国町村議会議長会から表彰されました

岡 広明 議長、宮原 宏典 議員が、全国町村議会議長会から表彰を受けました。

特別表彰

岡議長は、町議会議員として議会運営及び地域の振興発展に特に顕著な功績のあった者として、佐賀県町村議会議長会の推薦を受け、受章されました。



全国町村議会議長会表彰伝達式(右が岡議長)

自治功労者表彰

宮原議員は、町議会議員として27年以上在籍し、地域の振興発展及び住民福祉の向上に尽力したとして、自治功労者表彰を受けました。



むた 秀文 議員
ひでふみ 牟田



問

移動販売の中止に伴う今後の対応は

答

新たに契約を行い令和5年3月13日より再開する

問 移動販売について

では、令和4年7月より事業を開始し、ルート変更等の改良を行い月平均595人、81万7千円、売り上げ・利用者数ともに上昇傾向にあったと聞いていたのに、突然の移動販売の中止の説明がされたが、その原因は。

答 令和5年1月20日に委託先の会社より親会社の通販部門の不振の影響で本事業の継続が困難となったと唐突に告げられ、事業継続の協議を重ねたが1月31日

付けて中止する旨の書面が提出された。

問 買物支援等有効な事業であったが、移動販売事業を今後どのようにされていくのか。早急なる対策は。

答

今後については、現委託先従業員2名様から、個人事業主として事業継続の申し出があった。2名様は利用者からの信頼も厚く、新たに契約を行い、令和5年3月13日より再開することとなり、新年度は地域の声や意見を反映し販売箇所数を増やしていきたい。

女子サッカー推進室の体制

問 みやきなでしこクラブを設立し、女子サッカーで町の今

後の成果を図っていきたくと町長が断言されていたが、牽引者として佐賀県より教員で佐賀サッカー協会の役員の方をわざわざ派遣してもらった。4月より県に帰られると聞くが、岡町長は前町長から引き継がれた後、県から来ていただいた専門の先生にどのような女子サッカー選手育成と、まちおこしを考えられていたのか。

答 先生は高校でサッカー部顧問を歴任し、また佐賀県サ

ッカー協会副会長として広い視野をお持ちで、選手にはこの実績と広い視野で指導していただいている。まちおこしについては多目的人工芝グラウンドを整備し、スポーツによる継続的なまちづくり・地域活性化の促進を図りたい。



サッカー練習風景

問 先生が抜けられた後の影響、及び先生の継続はできないのか。
答 当初から3年間との約束であり、将来を描かれていると
思い尊重した。
問 今後どのようにして町全体のスポーツ振興と女子サッカーでのまちおこしをしていこうとしているのか。
答 5年以内に「九州リーグ」などしこリーグへの参戦を目指している。また、地域活性化起業者として勤務予定の方は、これまで女子サッカーチームと地域とのコミュニティ形成に精通しておられ、みやき町のスポーツ振興はもとよりまちおこしに優れた人材である。



移動販売の様子

一般質問

QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください



そのだ 園田 くにひろ 議員



問

豆津橋の4車線化を早急に

答

渋滞緩和以外の事業効果について
検証等の勉強会をしたい

問 昨年12月定例会で、この項について質問しており、町長は1日も早くしっかりとした勉強会・協議会及び期成会等を組織化して要望活動を行っていききたいと答弁されたが、いまだもって議会には何の説明もあっていない。一体どうなっているのか。

いる為、現時点で豆津橋の4車線化の優先順位は低いと考えられており、近いうちでの協議会設置は難しいとの回答であった。

問 久留米市の課題も多くあると理解するが、先方のことばかり考えては、みよき町の思いはいつまでたっても成就しない。強力に要望すべきだ。地元の熱意を伝えるべきである。

答 久留米市からは筑後川には何本もの橋があり老朽化したものから架け替え工事に取り組んでいる。また、道路のバイパス工事も行っている。



豆津橋の下部工部分



みやき町の北側の道路、右折すれば七曲峠、左が町道丸山線

問 町の北側に当たる七曲峠の整備について福岡県に願

いすると言っているが、この道路こそハードルが高いと思う

答 この縦につらなる道路は、町にとつては必要だと考えている。北から福岡都市圏の玄関口として縦の一本の道路を整備することは重要と考えている。

マイナンバーカード
加入促進について

問 昨年9月の質問で交付率をお伺いしたところ7月末時点で42・65%との回答であった。加入促進に取り組まれてきた現在、どの程度の交付率になっているのか。

答 2月末で交付率は71・6%、県内20市中7位となっている。

問 交付率によって普通交付税に反映させることになっていますが、どの程度の交

付税措置が講じられるのか。
答 現在では算定結果は出ていない。今年の8月頃に決定されると思っている。

集計日	みやき町 (25,823人)		佐賀県 (812,193人)		全国 (125,927,902人)		全国順位 (1,741中)	県内順位 (20市町中)
	申請率	交付率	申請率	交付率	申請率	交付率	交付率	交付率
7月末	44.01	42.3	49.29	45.8	49.91	45.9	871位	16位
12月末	69.84	62.7	69.45	61.2	66.39	57.1	306位	7位
1月末	73.82	66.4	72.53	64.6	69.43	60.1	310位	8位
2月末	77.57	71.6	75.89	68.6	72.55	63.5	242位	7位

みやき町・佐賀県・全国の交付状況



とある 議員
こが 古賀



問

県立大学創設の誘致をどう判断する

佐賀県の情勢を見極めながら誘致をしたい

実践的中核人材の育成を図ることを目的に、佐賀県立大学の設置に向けた取り組みを進められている。佐賀県が示される基本構想及び佐賀県議会の審議を注視していく。

環境づくりが重要な。誘致要望書の提出を考えている。

定住対策事業の一環として雇用の場を確保するために企業誘致や工業団地開発を図ることができ

が本町に設置された場合、産学官の連携を図ることができ千載一遇の機会である。

みやき町職員と教員の健康管理

コロナ感染拡大で人間関係が薄くなり孤独な関係などと呼ばれている。人は触れない、話さない、マスクで誰か判らないなど社会生活がひずみ、心の病や病気が多発、職員は住民と、先生は生徒と交流会話が大切にあり、最近これらに変化はないのか質問する。

答 ストレスチェックの結果に基づく高ストレス者には、産業医による相談、経済組合の事業で心理カウンセラーによる電話相談など、職員の健康管理・健康増進に努めている。

学校では育児休業8名、コロナ休暇51名、長時間勤務是正に取り組むため働き方改革とメンタルチェックも教職員全員行っている。町職員は次表のとおり。

年度	病休	内コロナ
R3	44名	5名
R4	87名	78名

答 佐賀県は、大学教育の充実を図るとともに、ITを活用し、経営的視点を持った地域産業を担う

誘致と大学の両面で人口流出を防ぐのが最優先と思う。要は学生の出口と受け皿



佐賀県議会



職員健康診断会場

一般質問

QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください

DX推進の進行状況は

DX推進計画の策定に取り組んでいる



ながせ のぶひろ
長瀬 宣宏 議員



問

答

問 DX推進の進行状況は。

答 本町のDX推進は、第三次みやき町総合計画のまちづくりの基本理念「未来に躍動する共感・協働のまち」に沿ったものとし、みやき町DX推進計画の策定に取り組んでいる。

みやき町DXは、町のありたい姿の実現に向けて、あらゆる分野においてデジタルを有効活用し、地域課題の解決や新たな価値の創出を目指している。

今年度のDX関連



中原総合窓口

の取り組み状況として、統合型GISの導入に取り組んでいる。住民公開型GISで施設情報や避難所等の公開を開始した。

今後も掲載内容の拡充を進め、本システムを通じて住民や

地域の事業者への有用な地図情報・データ

の公開を進め、災害対応時の情報共有ツールとしての活用など各種業務の効率化を図るほか住民サービスの向上となるよう努めていく。

職員においては、

総合計画の目指す町の方向性をDXにより加速できるよう、DXの研修や資格等の取得推進を行い、職員全体の人材育成の推進に取り組む。

問 DX推進の住民サービスについてどのような取り組みを

されているのか。

答 現在は各課をまたぐ統一的な地図情報ツールがなく、ゼンリン地図や個別に作成した紙情報にて管理していたが、統合型GISを導入し航空写真から作成し

た地図をベースとすることで、広範囲な業務および精度を要する地図情報の管理にも対応できるようになる。

問 DX推進の職員育成と意識づけはどのようなしているか。

答 みやき町のDX推進は、ありたい姿の実現に向けて、あらゆる分野においてデジタルを有効活用し課題の解決や新たな価値創出を目指すものとしている。

DXの推進のためには、若手職員から



北茂安総合窓口



みやき庁舎

幹部職員まで全職員の様々な職種・業務において必要となるスキルだと考え、DX推進計画の策定には、自分から計画に携わりたいという有志を集め、共感・協働のまちに沿ったDX推進の職員意識づけと意識改革を図っている。



おおいし やすひろ 議員
大石 安弘



問

ふるさと寄附金への

規制強化の影響はないか

答

総務省より一部制約を受け

目標達成に苦慮している

問 9月の一般質問で、ふるさと寄附金の経費割合が56・5%と県内で一番高い

ことで、50%以内に収めるよう意見した。

今年2月の読売新聞記事で、50%を超えている自治体に総務省が警告書を送ったとある。全国で3つの市町に対しふるさと寄附金制度から除外したとのこと、大変心配になったが問題はなにか。

家具の産地問題でストップがかかり、寄附額が伸び悩んでいるようだが、今年

度の回復見込みはあるのか。

答 総務省から警告書は届いていない。家具関連の寄附額はメインの一つでもあったので、大きな痛手である。返礼品の見直しやPRの効果に期待しながら取り組んでいるが、30億円の目標額に対し23億円を見込んでい

る。経費割合については5割を超過しないよう新返礼品の開発、送料経費の見直しを図り、現在好調な電化製品を軸として、5年度寄附目標

額30億円の達成に執行部一丸となり努力していく。

少年スポーツ育成について

問 昨年暮れのジュニアバレー九州大会で三根ジュニアが見事3位入賞との記事が町の広報紙に掲載されていた。児童数が少ない校区でもあり驚きと喜びもひとしおだった。



三根ジュニアバレーボールクラブ

答 社会教育課の管轄ではクラブ数22クラブ、会員数2544人の助成をしている。女子サッカーについてはU12、社会人まで39名。月謝は合計で年約300万円。依頼先であるスポーツコミッションへ年間2千4百万円で委託。

問 他のスポーツに比べ女子サッカーが突出して経費がかかっている。当初ふるさと寄附金を充てにし事業を進められたと思うが、寄附金が減額される中では、女子サッカー事業を見直すべきではないか。

答 スポーツコミッションは女子サッカーをはじめ、スポーツを通じた地域振興を目指す組織でもあり、SAGA2024国民スポーツ大会にも携わっていくため、当面は現状を維持していく。

問 町として待機児童解消のために、認定こども園や新設の保育園を誘致し、施設整備補助をされているが、5年度入所希望者の状況はいか

令和5年度町内保育所の受け入れについて

問 町として待機児童解消のために、認定こども園や新設の保育園を誘致し、施設整備補助をされているが、5年度入所希望者の状況はいか

か。

答 保育所定員956人に対して、入所申込数は2次募集分まで含めて898人。定員に余裕があるものの、保育士確保ができないために、ゼロ・一歳児で10名程度の待機児童が発生する見込み。潜在待機は60名程度。

問 保育士確保のためにどのような支援を行っているのか。

答 養育支援金、奨学金返済支援金、新規就労支援金等の助成を行っている。

問 保育士確保のためにどのような支援を行っているのか。

答 養育支援金、奨学金返済支援金、新規就労支援金等の助成を行っている。

一般質問

QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください



たけだ みつくに 武田 光邦 議員



問

学校施設の老朽化対策について

答

改修工事の経緯や補助金の調査を実施

問 学校施設の老朽化の現状について。

・各学校の築年数は、今までのどの様な老朽化対策を行ったか
・今後の生徒数の推移は

答 三根中を除き43年から59年経過しており、その間どの校舎も屋根の防水工事や耐震化工事を実施しているが、電気・ガス・水道にも支障が出ており多額の工事費が発生している。また生徒数の推移は令和8年度まで増加傾向にある。

問 今後の課題と対策を財政面言え伺う。

答 老朽化に伴う改修工事等が毎年発生し、児童生徒・先生・職員の安全を確保することが待ったなしの状況であると認識している。

老朽化した施設を効果的かつ効果的に再建するため、劣化調査を行い現状を把握分析する必要がある。

財政面では国庫補助等の特定財源の確保、償還金に対する交付税措置など条件の良い地方債を活用

し町の持出分の抑制に努めたい。また、財源として教育施設

整備基金への積立の実施で、令和5年度末の残高を約3億5千9百万円と見込んでおり、積立を継続していくことで将来

に備え、町財源の安定的な運営に努めていきたい。

問 今後の在り方について教育長の考えを伺う。
答 児童・生徒の安全確保の面から喫緊の課題として認識しており、既に教育委員会内でこれまでの

改修工事等の経緯や補助金等の調査を行っている。まずは校舎の現状を調査把握

し、改修か建て替えかを判断し、整備計画を立案する必要がある。今後、町当局に正確な情報を提供

し、十分に協議を重ね、教育効果も言めて総合的に判断していく必要がある。



北茂安小学校

健康寿命について

問 昨年の新聞紙上で県内女性の健康寿命が全国でトップだったと報道された。そこで①健康寿命の定義とは何か。②算出方法は。③平均寿命と健康寿命の関係性はどうかを伺う。

答 ①は人が生きていく期間のうち健康である期間の平均値。②の一つ目は介護台帳の要介護2以上を不健康と定義し算出された指標。二つ目は3年に一度の調査で、健康上の問題で

生活に影響がある人をサリバン法で算出したもの。③二つの指標の差を縮めていくことが重要である。

問 今後、健康寿命を延ばす取り組みは。

答 健康寿命延伸プランは、①全ての人の健やかな生活習慣形成②疾病予防・重症化予防③介護予防・フレイル対策・認知症予防に取り組み推進する、となっている。各関係部署においても健康大賞、百歳体操等の継続・実施を行い健康寿命の延伸を図る。



いきいき百歳体操



ますだ 益田

きよし 清 議員



問

温水プール再度の休館へ
缶体自体の損傷調査を

答

検証し剥離解消へ努めていく

問 令和3年5月にB&G温水プールがリニューアルしたが、表層塗装の剥離が生じ手直しが行われた。

しかしそれ以降もこのような状態が見られ、今年春先以降に再々補修を行う予定。缶体そのものの損傷検査が必要では。

答 プールは竣工し35年経過。その都度、修繕・改修工事を行うつてきており、今後の管理にも期待に沿えるよう努めていく。

メディカルセンター設置の法的根拠と運用について

問 メディカルセンターの建設費返済額は今年度8千百万円。大幅な赤字で見通しが深刻な状況だ。そもそも計画段階から法に抵触していなかったか。地方自治法第238条の4は「行政財産の管理及び処分」を規定。町民の財産や税金の使途は、

- ・特定の個人・団体・企業の活動を行政の中立性を阻害して支援すること

・貸し付け、または使用許可により公共性・公益性を損なうおそれがあることについてではない。テナントという言葉は存在しない。すでに運用しているが検証を求められる。

答 公共の施設として町設置条例はつくられている。どんなことを行うか明示されており、その条例の中にテナントという条文が入っている。指摘された目的外使用とはちよつと違うように思っている。

問 入居している事業所のテナント料は5年は一律半額、6年からは契約通り減免なしで徴収。令和5年度をもって2社が退去し空き室、非営利団体は「障がい者就労支援らしく」

「きやんごるハート」「健康教室（県CSO）」等があるが、賃料は委託料・補助金アップなど町の負担、住民負担に直接つなごうてくるのではないか。見直しは。

答 当時減免が先行。今後、根本議論も含め検討したい。

入居については建設過程で部屋のレイアウトが変わって無理した部分もある。契約に基づき履行されるが、非営利の入居者が継続的に借用されるか心配される。空きテナントについては不動産広告業者を使ったり、関心がある企業に積極的に誘致していきたい。

令和5年度 年間賃借料 (テナント料)	
メディカルセンターセンター 入居事業所 (テナント面積) 【非営利団体】	約156万円
・A団体 (125.0㎡)	約100万円
・B団体 (80.0㎡)	
【営利団体】	
・C団体 (88.4㎡)	約110万円
・D会社 (85.0㎡)	約106万円
・E会社 (50㎡)	R3～空き室
・(株) 通販王国	空き室
・シミックソリューションズ (株)	空き室
R3年6月オープン時19事業 所から現在17事業所に	(1㎡＝ 24,916円)
※R 3～4年度は入居状況に 応じ5・7・9割減免	賃借料1/2 減免でトータル2,230 万円見込む
※R 5年度は半額料金	
※R 6年度は減免なし	

一般質問

QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください



議員 目野さとみ



問

紙リサイクルを簡単な出し方に！

答

紙袋に入れての排出も可能！

書かない窓口
システムの導入を

問 紙類のリサイクルごみの出し方について「もつと簡単に分別して排出することができないか。」との声を聞いた。チヨコレートやクッキ―・キャラメル等の小さな菓子の箱やシチューやカレーのルーの箱は紙ごみとしてリサイクルできる。本町のごみ出しガイドには資源物の紙類については「出し方として、雑誌などの間にはさんで出すことができます。」とあるが、この書き方だと雑誌の間に挟



まなければ出せないようにも感じられる。もつと簡単に出すことができないか伺う。

答 紙ごみについては、一般廃棄物のうち、2割程度占めている。自治体では資源物として収集運搬がすすめられている。質問の紙資源は、雑誌等雑紙として処理をされている。紙資源の排出方法は、底が抜けないようにして、収集運搬の際に散らばらないようにしていただければ、紙袋に入れての排出等も可能である。

良いとか、散らばらないように出して下さい。」というようなことは書かれていない。今のままでは、住民の

方では分からない。もつとわかりやすい言葉で書くべきだ。他の資源物の出し方も同じ様なことがあるのではないか。分別ガイドへ具体的に分かりやすい言葉への書き替えを考えているのか。また、そのことを住民の方にお知らせする必要がある。周知の方法を伺う。

答 令和5年度予算にてゴミ分別ガイドの外国語版の作成費用を計上している。予算承認いただきましたら、文言の精査

め、可能な限り簡素で分かりやすいガイド作成に努める。また、町の広報において周知する方向で進める。



リサイクルマーク

等を行い対応していく。令和6年度からは、新たに2市3町の枠組みでのごみ処理が始まり、排出基準が変わる可能性もある。その場合、ガイド本を新たに作成する必要がある。その際、今回の件も含め、可能な限り簡素で分かりやすいガイド作成に努める。また、町の広報において周知する方向で進める。

問 住民が提示した身分証明書に基づき、職員が氏名や生年月日といった個人情報を確認して書類を作成し、住民が書類の記載内容を確認した上で署名するだけというシステム。本町は「書かない窓口システム」導入の考えはないか伺う。

答 書かない窓口システム導入により住民の方の申請書等の記入の負担が軽減され、住民サービスの向上が実現できると考える。今後、時間短縮、人員削減の効果の検証を行い国や近隣市町の動向を注視していく。



ひらの 平野 たつや 達矢 議員



問

合併後の現状と財政運営

答

効果の検証と財政構造の改善を図る

問 (四) 経常収支比率の見方について財政担当と私見に相違がある。監査委員の意見書にもあるふるさと寄附金との関係の見解を伺う。

答 令和3年度決算では経常経費への充当額は3億3千6百万円と縮小している。今後財政構造改善に努力する。

問 (五) 一般財源収入確保対策を伺う。

答 町予算と基準財政収入額の見込額は試算では同程度である。税の徴収については厳正な滞納整理を実施することにより、税の公平性を実現し、歳入の確保に努める。

りと示すべきである
と考える。見解を伺
う。

答 令和元年度、みやき町公共施設等個別施設計画を策定し
施設ごとの具体的な
対応方針を定めた。
今後長寿命化と合
わせ、住民生活に急
激な影響を及ぼさな
いよう配慮しつつ、
地域の実情を考慮し
施設の更新、集約化
や複合化、廃止等も
必要に応じ検討し、
基金、大規模改修や
長寿命化に関する
国・県の補助金制度、
地方債を活用しなが

ら道路や橋などイン
フラ設備も含めたハ
ード全体の維持管理
経費の縮減を図って
いく。

問 (三) 基準財政収入
額と基準財政需要額
に基づいた5年度予
算になっているか。

答 基準財政需要額
見込みに対し、一般
財源総額が21%上回
っている。主なもの
はごみ処理施設建設
負担金と町単独補助
事業の農業行政費で
あり、他は概ね適正
な一般財源の額とな
っている。

運営に努めていき
たい。

問 (二) ハード行政
において、合併時の
ままで整理統合やス
リム化などが実施さ
れず、将来にわたっ
て維持管理等が増大
する構造になってい
る。

今後、小中学校や
他の公共施設の改
築、公共インフラの
再構築や長寿命化、
広域ごみ処理施設の
移転問題、一部事務
組合の負担金、町単
独事業等、課題が山
積している。中長期
の財政計画をしっかりと

準である基準財政需
要額を大幅に超えた
過剰サービスが行わ
れていないか。

答 現在、ふるさと
寄附金基金をはじめ
と特定目的基金を
財源として有効活用
することで、多くの
事業を実施してい
る。今後は、基金の
目的に沿った事業の
財源として活用しつ
つ、一方で計画的な
積立てを行い、あわ
せて、既存事業の必
要性、効果の検証、
受益者負担の適正化
など中長期にわたる
安定した健全な財政

問 何のための合
併であったのか。みや
き町は普通地方交
付税の交付団体であ
る。いわゆる財源が
足りない団体であ
る。この18年間、合
併特例債とふるさと
寄附金によって豊か
な行財政運営をやっ
てきた。しかし現状
の町の姿と財政状況
を分析すると、ベタ
ーな行政運営であっ
たのかは疑問符があ
く。そこで次の5点
について見解を伺
う。
(一) ソフト行政にお
いて、国の交付税の基

一般質問

QRコードから一般質問の録画映像をご覧ください



にしむらけんいちろう
西村健一郎 議員



問

みやき町に小児科の誘致を

答

誘致に努力する。真剣に検討を進めていきたい

問 過去の一般質問でも取り上げられているが、町内に小児科専門医院がなく、近隣の市町の小児科が受け皿となつている。町外からの転入者も増えてきており、それに伴い子どもの数も増えていると思うが、小児科の受診対象となる15歳以下の子ども人口の推移および町内の小児医療の現状はどうか。

答 過去を標榜しており、小児医療に対応している。また夜間の小児科外来については久留米市の聖マリア病院の小児科で対応している。現状として医師会の意見も尊重しながら開設に関する御意見や動きがあれば積極的に連携していきたいと思つている。

問 小児科を標榜している内科で子どもを診て頂くことが出来るのは承知しているが、一方、小児科専門医でなければ出来ない検査や小児科専門医に診てもらった方がいい症例も

あるかと思う。そこで、他の自治体で小児科誘致に成功した事例が無いか調べてみた。愛媛県の伊予市では市内に唯一あった小児科が令和3年の夏に閉院することになり、市民から小児科の誘致を要望する声があがった。伊予市と議会は「小児科新規開業促進事業補助金(上限4千万円)」を創設し小児科の誘致を進め、令和5年5月開業する小児科の新規誘致に成功した。みやき町でも同様の施策を行うことはできないか。

答 現在、企業の誘致においては補助金の交付を行っているが、医療機関は対象外となっている。現状として、病院の開業に向けた相談があった際は土地などの紹介をして協力してきた。しかしながら全国的に医療機関の開業時における優遇措置を行っている自治体もあるのでは今後参考にし調査研究を進めていきたい。

問 小児科の誘致は今の子どもたちのためでもあるし、その子どもたちが将来大人になって結婚して子どもを持つ親になり、その子どもたちがまた小児科で受診できるようにするだけでもある。みやき町で生まれ育つた子どもたちが、みやき町で子育てしたい、この町ですつと暮らしていきたいと思つて頂けるような町づくりをしていくことが重要だと考えているが。

答 子どもの健康を守り全ての家庭が安心して子育てをしていくために、小児医療の充実が重要であることは十分認識している。「子育て支援のまち宣言」を行う

つて子育て世代が増える中、アレルギーや低身長など小児科専門医ならではの診療を必要とする子ども達も増えてきていることも認識している。補助金についても誘致に努力するところと真剣に検討を進めていきたい。また一方で大きな総合病院を持つ医療法人の関係者の方や建築コンサルタントの方などには、独立されるような小児科医の先生がおられるら、ぜひみやき町に紹介頂きたい、という声かけをすでに複数行っている。そういう努力も継続しながら、新しい制度の取り入れも検討していきたい。「子育てするならみやき町」というスローガンを継続できるように努力していく。

産業建設常任委員会で行政視察に行ってきました

令和5年2月7日～9日

【兵庫県^{しそ}宍粟市】

「移住促進施策の取り組み」 (農地付き空き家の取り組みなど)

▽宍粟市の現状

合併当時、45,700人ほどあった人口は、毎年約500～600人減少しており、人口減少、少子高齢化による様々な問題があり、危機感の一つに、空き家と遊休農地の増加があった。



▽宍粟市の取り組み

農地付き空き家

「農ある暮らし」を求める移住希望者の増加もあり、空き家と農地をセットにしたバンク制度を創設。

(自然菜園カフェや喫茶店)

はじめての企業を支援

- ・市内での新たな起業者に店舗の改装などで最大100万円助成（市外からの移住者は150万円）
- ・雇用助成（3年間）

社会保険被保険者一人50万円

雇用保険被保険者一人30万円

新規就農・定住促進事業補助金

55歳以下の方の農機購入・リース・施設設備等に最大100万円助成

視察参加者

委員長	牟田	秀文
委員	古賀	通
委員	平野	達矢

【兵庫県^{たんばささやま}丹波篠山市】

「鳥獣被害対策の取り組み」

▽丹波篠山市の現状

兵庫県の中東部に位置し、基幹産業は農業。特産に丹波の黒豆・栗・松茸などがある。

休耕田の増加と狩猟機会の減少で、野生生物が出没しやすい環境に変化。被害が出やすい状況になっている。

▽ハード面の対策

集落柵・電気柵などによる防御

▽ソフト面の対策

個体数管理、集落支援員などの住民参画
講習会を受けた市民に「捕獲従事者証」を交付

▽被害対策3つの基本

1. 有害鳥獣に農作物を食べさせない

☞対策1：農地をしっかりと防御

2. 有害鳥獣を減らす

☞対策2：個体数の管理

3. 他人任せにしない

☞対策3：できることは自分でやる(住民参画)

※平成29年度、農林水産大臣賞受賞

(鳥獣被害対策優良活動表彰として)

▽今後の課題

生産者（農家）と捕獲者（猟師）が減少・高齢化している。多彩な人材が獣害対策に携わり、前向きに取り組んでいくことが大切と考える。



議員の横顔

全4回にわたって議員の横顔に迫ります！
最終回は表紙の3名です。

議席番号14番 平野 達矢 議員



- Q. 趣味は？
- A. 野菜作り
- Q. 大切にしているものは？
- A. 友人
- Q. 議員以外の仕事は？
- A. 花屋さん
- Q. 若い頃の夢は？
- A. 弁護士
- Q. 好きな食べ物は？
- A. お酒から始まりケーキまで
- Q. 子供、孫は何人？
- A. 子供男4人、孫女5人

議席番号10番 古賀 通 議員

- Q. 趣味は？
- A. 家庭菜園。読書。
- Q. 大切にしているものは？
- A. 佐賀県遺族会理事として、戦没者の顕彰と遺族会の平和活動。
- Q. 座右の銘は？
- A.



あらゆることは天と人間に起因する、誠にすべてをかけること天にも通じる。



議席番号9番 牟田 秀文 議員



- Q. 趣味は？
- A. 11～12月にかけて市原蓮根掘でレンコンを取る。海釣り。
- Q. 特技は？
- A. 西日本鉄道KK勤務時代、相撲部でアマチュア2段。
- Q. 好きな言葉は？
- A. 天に星、地に花人に愛。



次回 定例会(6月)午前9時30分 開会

会期予定 **6月6日(火)～15日(木)**

一般質問 **8日(木)、9日(金)、12日(月)**



※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。
最新の日程は、みやき町ホームページまたは議会事務局(94-5728)でご確認ください。

編集後記

今年度も私たち広報委員がお届けします



広報を担当して一年が経ちました。長かったコロナ感染対策の制限も徐々に解除され、久しぶりに、マスク着用義務が緩和された卒業式や入学式となったことは嬉しいことです。



今年度も、同じメンバーで広報づくりに励みます。議員一人一人が様々な問題や環境の改善に積極的に取り組み、活力あるまちづくりのために頑張る姿を伝えていきたいと思っておりますので、皆様、一年間どうぞよろしくお願いします！
(吉)

◎広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 平野 達矢 |
| 副委員長 | 西村健一郎 |
| 委員 | 末次 優 |
| 委員 | 長瀬 宣宏 |
| 委員 | 吉村 哲雄 |
| 委員 | 武田 光邦 |